

略

五年 筆順 田 昭 略
11 オン リヤク ワン

「至る」という意味を表した「各(年469)」と、「田」を組み合わせて作った字です。

「田に至る」という意味の字で、現地に至つて、実際に経営することを表した字です。「事業を『経営する』」という意味に使われます。**例**経略。

「経営の計画(はかりごと)」という意味に使われます。**例**計略、策略、謀略、戦略。

また、「物事の『大体』」という意味にも使います。**例**略称。

また、「省く」という意味にも使います。**例**省略、略式、略称。

『掠(かすめる)』の代用。**例**侵略。

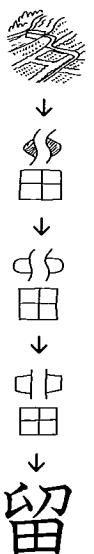
『大略、略図、略式。』
『大略(ばかりごと)』
『略図(だよその地図)』
『略式(細かい所を省いて、大体のことを残しておくこと)』
『省略(細かい所を省いて、大体のことを残しておくこと)』
『略称(省略した形式)』
『略式(省略した形式)』
『略称(省略した名称)』
『侵略(侵入して、物を奪い取ること)』

留

五年
筆順
画数
10

オン
リュウ・ル
ワン
とまる
二める

成り立ち



川の流れがせきとめられて、水があふれ出た形を表した「卯」と、「田」とを組み合わせて作った字です。

川の水をせきとめて、あふれた水を田に引き入れることを表した字です。水が田にとどまつて「いるので、とどまる」という意味を表したものです。**例**居留、留学、留任、留守。

「とどめる」という意味にも使います。**例**留意、保留、慰留。

また、「心に『留まる』とか、「心に『留める』といふ使い方もあります。

成り立ち



▽ぼくは、友だちと戦争ごっこをしました。ぼくは味方の友だちと、敵方をどうやって計略にはめてやろうかと戦略を練りました。

▽わたしは、はじめての家に遊びに行くことになりましたが、どうやつて行つたら良いのかわかりません。そこで略図を書いてもらいました。そんなに遠くない所なので、うまく行けると思います。

使い方

八年

五年 留意
11 留意(心に留めること。注意すること。)
▽留任(その仕事をやめないで、そのままとどまること。)
▽留守(「家にとどまつて家を守る」という意味から、「外出して家にだれもない」という意味に変化して、つかわれている言葉です。)

▽留学(外国に一時とどまつて、勉強すること。)
▽留学(外国语に一時とどまつて、勉強すること。)
▽留任(その仕事をやめないで、そのままとどまること。)
▽留守(「家にとどまつて家を守る」という意味から、「外出して家にだれもない」という意味に変化して、つかわれている言葉です。)

熟語例

▽居留(ある場所に、一時的にとどまつて、居住すること。「インディアンは白人の勢いに押されて、居留地に押し込められた」などといふうに、つかいます。)

▽在留(一時に、外国にとどまつて住むこと。「日本に在留している外国人は、円高にこまつて『いる』などといふうに、つかいます。)

八年

五年

八三三